

あなたにもっと知って欲しいがん検診のこと

がんは早期発見をして早期治療を行うことで、治る可能性が高くなります。また、死亡リスクも減少します。大切な命を守るために、自分の体に向き合ってみませんか？



もくじ

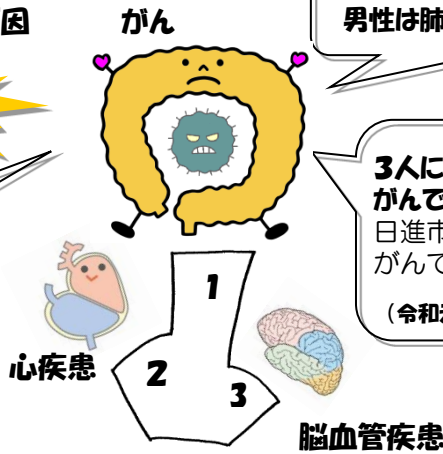
- ①がんは他人事ではなかった！... 1
- ②がん検診はどんなことをするの？
 - 胃がん検診..... 2
 - 大腸がん検診..... 3
 - 乳がん検診..... 4
 - 子宮頸がん検診..... 6
 - 前立腺がん検診..... 6
 - 肺がん検診..... 7
- 欄外
- ③がん検診受診の心得

①がんは他人事ではなかった！

日本人の死亡原因

第1位

日本人の2人に1人は生涯のうちになんらかのがんにかかります。



部位別では…
男性は肺がん、女性は大腸がん

3人に1人はがんで命を落としています。日進市でも33.1%の人ががんで命を落としています。

(令和元年度愛知県衛生年報より)

胃がん検診

対象 個別(バリウム)40歳以上の男女
(内視鏡) 50歳以上の男女
集団(バリウム)30歳以上の男女
年1回(内視鏡は2年に1回)

どんな病気？

日本人が最も多くかかるがんです。早期では自覚症状が出ることが少ないです。早期発見のためには、検診を受けることが大切です。

バリウム液



発泡剤

どんな検査？

〈胃部エックス線検査(バリウム)〉
胃を膨らませる発泡剤とバリウム液をのみ胃内の凹凸や胃の形を観察します。

〈胃部エックス線検査〉

〈胃内視鏡検査〉
口または鼻から内視鏡を挿入し、胃の内部を観察します。



検査着に着替えます

②がん検診はどんなことをするの？

大腸がん検診

年1回 対象 個別 40歳以上の男女
集団 30歳以上の男女

どんな病気？

近年増加傾向にあります。早期発見できれば治る可能性が高いがんで、日本人ではS状結腸や直腸のがんが多いです。

まだ便が柔らかく、自覚症状が出にくい。

結腸



直腸

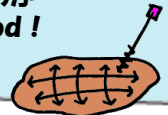
血便や排便に関する症状が出やすい。

どんな検査？

便潜血検査です。便の中の血液の有無を調べます。腸の中にがんやポリープがあると血液が混じることがあります。

便の表面をこすり取るだけで簡単！

まんべんなく取るのが Good!



乳がん検診 (マンモグラフィ)

2年に1回
対象 40歳以上の女性

どんな病気？

女性がかかりやすいがん第1位で、9人に1人がかかるといわれています。
発症のピークは40～50歳代。

どんな検査？

マンモグラフィ（X線）です。
マンモグラフィ（X線）は、透明なプラスチックの板で乳房を圧迫して撮影します。

乳房の張りが強い生理前は避けて！

上下と斜めの2方向撮影します

乳房を薄く押しつぶしたぶん、病変の見逃しが少なくなると言われています

痛みは個人差があります！とにかくリラックス



月1回のセルフチェックも忘れずに！！

乳がんは、自分で見つけることができるがんです。生理が終わって1週間後が良いです。閉経後は毎月1日、覚えやすい日を決めましょう。

①鏡で見てチェック！



鏡の前で腕を上げたり下げたりします。前から、横からといろいろな角度からチェックしましょう。

②触ってチェック！



お風呂の時に、石けんをつけて行うと良いです

4本の指をそろえて、指の腹で円を描くように滑らせながら触ります。乳首をつまみ、分泌液がでないか確認。わきの下も忘れずに！

ここをチェック！

左右の乳房の形の違い、くぼみ、ひきつれ、しこり、皮膚の異常

4

5

子宮頸がん検診

2年に1回
対象 20歳以上の女性

どんな病気？

20～30歳代女性に急増中のがんです。初期の段階では症状がありません。しかし、早期に発見できれば比較的治療がしやすいがんでもあります。

どんな検査？

医師による、触診・内診と細胞診です。細胞診は、子宮頸部の細胞を綿棒やブラシで軽くこすり採った細胞を顕微鏡で調べます。



生理中はできません

簡単に痛みは少ない検査です！

肺がん検診

年1回
対象 40歳以上の男女

どんな病気？

日本人のがんの死亡原因トップです。
最大の原因はたばこです。吸っている人だけではなく、受動喫煙によってもリスクは高まるため、たばこを吸わない人も油断できません。かぜに似た症状が多く、見過ごされやすいです。



どんな検査？

胸部エックス線検査です。エックス線で肺全体を撮影します。医師が必要と認めた場合は、喀痰細胞診も行います。痰を採って、その中に肺がんの細胞が混じっていないか調べます。

ハイ、息とめて！そのままね！

前立腺がん検診

年1回
対象 50歳以上の男性

どんな病気？

年をとることによって多くなるがんの1つで、65歳以上の男性で増加しています

どんな検査？

血液検査です。血液の中に含まれるPSA(前立腺で作られるたんぱく質)の量を調べます。



③がん検診受診の心得

- ☆検診は100%がんが発見できるとは限りません。気になる症状があれば、早めに医療機関を受診しましょう。
- ☆自覚症状がないまま進行するがんもあります。早期発見のためにも、定期的に検診を受診しましょう。

精密検査になってもあわてないで

- ★がん以外の病気を発見ということもあります。
 - ★がんであっても、早く発見できれば、適切な治療ができ、完治の可能性も大！
- できるだけ早めに精密検査を受けましょう。

★市の検診については、保健センターガイド、広報、市ホームページをご覧ください。